

答え合わせ・解説

問1	答え 4 鳥	「鳥肌が立つ」の「鳥」の部分が入ります。意味は「恐怖や寒さ、感動などで皮膚がぶつぶつになる」です。
問2	答え 1 その兄弟は、顔も背格好もうり二つだ。	「うり二つ」の正しい使い方は「その兄弟は、顔も背格好もうり二つだ。」です。意味は「二つのものが、見分けがつかないほどよく似ている」です。
問3	答え 1 腹	「腹黒い」の「腹」の部分が入ります。意味は「心の中に悪い考えを持っている」です。
問4	答え 1 先生の教えに、しっかりと耳を傾ける。	「耳を傾ける」の正しい使い方は「先生の教えに、しっかりと耳を傾ける。」です。意味は「相手の話を熱心に聞こうとすること」です。
問5	答え 2 目	「目がない」の「目」の部分が入ります。意味は「あるものに夢中になるほど好きだ」です。
問6	答え 1 いたずらばかりする弟に手を焼く。	「手を焼く」の正しい使い方は「いたずらばかりする弟に手を焼く。」です。意味は「あつかい方が分からず困る」です。
問7	答え 4 悪いことをして家族の顔に泥を塗る。	「顔に泥を塗る」の正しい使い方は「悪いことをして家族の顔に泥を塗る。」です。意味は「恥をかかせて名誉を傷つける」です。
問8	答え 1 舌	「舌が回る」の「舌」の部分が入ります。意味は「次から次へとよくしゃべる」です。
問9	答え 3 顔	「顔が広い」の「顔」の部分が入ります。意味は「多くの人と知り合いで、交際範囲が広い」です。
問10	答え 3 考え方や好みが同じで、仲良くできそうだと感じる	「気が合う」は「考え方や好みが同じで、仲良くできそうだと感じる」という意味です。
問11	答え 3 何度も練習して、演技が板についてきた。	「板につく」の正しい使い方は「何度も練習して、演技が板についてきた。」です。意味は「その仕事や服装が、その人にぴったり合っていること」です。
問12	答え 4 会議中に上司の話へ口を挟むのは失礼だ。	「口を挟む」の正しい使い方は「会議中に上司の話へ口を挟むのは失礼だ。」です。意味は「他人の話の途中で割り込んで意見を言う」です。
問13	答え 3 毎日練習を続ける選手に頭が下がる。	「頭が下がる」の正しい使い方は「毎日練習を続ける選手に頭が下がる。」です。意味は「相手の行いに感心して尊敬する」です。
問14	答え 3 秘密を守れず、何でもすぐにしゃべってしまう	「口が軽い」は「秘密を守れず、何でもすぐにしゃべってしまう」という意味です。
問15	答え 1 白羽	「白羽の矢が立つ」の「白羽」の部分が入ります。意味は「多くの人の中から選ばれること」です。
問16	答え 4 過去のいざこざや嫌なことをなかつたことにする	「水に流す」は「過去のいざこざや嫌なことをなかつたことにする」という意味です。
問17	答え 1 嫌な予感がしたのは虫の知らせだったのかもしれない。	「虫の知らせ」の正しい使い方は「嫌な予感がしたのは虫の知らせだったのかもしれない。」です。意味は「悪いことが起こるような予感がすること」です。